

★このファイルには、出願書類一式が添付されておられません。

出願時には、「[募集要項・学校案内のご請求について](#)」を参照し、

以下のどちらかの方法で募集要項を請求してください。

## 募集要項請求方法

### 1. 直接来校される場合

事前に学生課教務係にご連絡ください。窓口にてお渡しします。

### 2. 郵送の場合

「[募集要項・学校案内のご請求について](#)」を参照してください。

※お急ぎの場合は、上記送料に速達郵便料金分の切手を追加し、

「**速達**」と返信用封筒に朱書きしてください。

照会先：独立行政法人国立高等専門学校機構  
岐阜工業高等専門学校  
学生課教務係（入試担当）  
TEL：058-320-1260  
Email：nyushi@gifu-nct.ac.jp

令和4年度

# 専攻科学生募集要項

(選抜日程表)

選抜方法	願書受付期間	検査日	合格発表日	入学確約書提出期限
推薦選抜	5月10日(月) ～ 5月12日(水)	5月19日(水)	5月27日(木)	6月3日(木)

選抜方法	願書受付期間	検査日	合格発表日	入学意志確認書提出期限
学力選抜(前期)	6月7日(月) ～ 6月9日(水)	6月16日(水)	6月24日(木)	9月16日(木)
学力選抜(後期)	10月25日(月) ～ 10月27日(水)	11月10日(水)	11月18日(木)	12月6日(月)

選抜方法	願書受付期間	検査日	合格発表日	入学確約書提出期限
社会人特別選抜	5月10日(月) ～ 5月12日(水)	5月19日(水)	5月27日(木)	6月3日(木)

※上記選抜とは別に、令和4年度豊橋技術科学大学との先端融合テクノロジー連携教育プログラムによる選抜も行います。詳細は、6～9頁でご確認ください。

独立行政法人 国立高等専門学校機構

岐阜工業高等専門学校

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2  
TEL 058-320-1260 (学生課教務係(入試担当)直通)  
ホームページ <http://www.gifu-nct.ac.jp/>  
メールアドレス [nyushi@gifu-nct.ac.jp](mailto:nyushi@gifu-nct.ac.jp)

# 目 次

## 学生募集要項

### 共通

I. 募集人員	1
II. 選抜方法	1
III. 選抜方針	1
IV. 出願に関する注意事項	1
V. その他の注意事項	1
VI. 個人情報の取扱い	1

### 推薦による選抜

1 出願資格	2
2 出願手続	2
3 提出書類等	2
4 選抜方法	2
5 合格判定基準	2
6 合格者の発表	2
7 入学確約書の提出	2

### 学力検査による選抜（前期・後期）

1 出願資格	3
2 出願手続	3
3 提出書類等	3
4 選抜方法	4
5 合格判定基準	4
6 合格者の発表	4
7 入学意志確認書の提出	4

### 社会人特別選抜

1 出願資格	5
2 出願手続	5
3 提出書類等	5
4 選抜方法	5
5 合格判定基準	5
6 合格者の発表	5
7 入学確約書の提出	5

## 先端融合テクノロジー連携教育プログラム

1 入学者受入れの方針 （アドミッション・ポリシー）	6
2 募集人員	6
3 選抜方針	6
4 出願資格	6
5 出願手続	6
6 提出書類等	7
7 選抜方法	7
8 合格判定基準	8
9 合格者の発表	8
10 入学確約書または 受験意思確認書の提出	8
11 出願に関する注意事項	9
12 その他の注意事項	9
13 個人情報の取扱い	9

## 入学案内

1 設置	10
2 目的	10
3 専攻及び入学定員	10
4 修業年限及び修了要件	10
5 修了認定の方針 （ディプロマ・ポリシー）	10
6 教育課程編成・実施の方針 （カリキュラム・ポリシー）	10
7 入学者受入れの方針 （アドミッション・ポリシー）	11
8 学士の学位取得	12
9 入学時に必要な経費	12
10 入学科・授業料等の免除	12
11 高等教育の修学支援新制度 （授業料等減免と給付奨学金）	12
12 奨学金貸与制度	12

## 出願書類

- ・ 入学願書
- ・ 入学志願者調査書
- ・ 推薦書（推薦選抜用）
- ・ 推薦書（社会人特別選抜用）
- ・ 自己申告書
- ・ 出願承認書
- ・ 写真票・受検票・入学検定料  
「振込受付証明書」提出票
- ・ 検定料払込書

# 令和4年度 独立行政法人国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校 専攻科学生募集要項

## 共通

### I 募集人員

専攻	入学定員
先端融合開発	20名

※先端融合テクノロジー連携教育プログラムについて

先端融合テクノロジー連携教育プログラムは、本校と豊橋技術科学大学が強みをもつ教育資源を有効活用しつつ、地域等の社会で活躍することができる分野横断型の実践的技術者を育成することを目的とし、本校が豊橋技術科学大学と連携・協力して実施するものです。同プログラム履修者は、本校と豊橋技術科学大学の双方に在籍し、それぞれの課程を修了することにより、本校修了証書並びに豊橋技術科学大学卒業証書（学士の学位記）が交付されます。

### II 選抜方法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜（前期・後期）及び社会人特別選抜により行います。

### III 選抜方針

専攻科での勉学に支障のない学力、目的意識及び学習意欲を十分に備えた人物を選抜します。

### IV 出願に関する注意事項

- (1) 提出書類等に不備があるものは受理できません。
- (2) 提出書類に虚偽の記載が認められたときは、入学を取り消すことがあります。
- (3) 書類提出後は、記載事項の変更は認められません。
- (4) 本校が受理した書類及び検定料は返還できません。ただし、検定料については次の場合に返還請求ができますので、学生課教務係（入試担当）までご連絡ください。
  - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
  - ・検定料を重複で納付した場合
- (5) 自然災害に伴う入学検定料免除の臨時措置がとられた場合には、その対象及び内容について本校のホームページ（<http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に掲載しますので、ご注意ください。
- (6) 障がいや有する者等で、受検上もしくは修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、事前相談をしてください。

選抜区分	事前相談申請締切日	提出書類
推薦選抜 社会人特別選抜	4月30日（金）	①事前相談申請書（申請書は、学生課教務係（入試担当）に請求してください） ②障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書
学力選抜（前期）	5月28日（金）	
学力選抜（後期）	10月15日（金）	

上記により提出された申請書等に基づき、本校の取るべき措置等を検討します。

なお、検討する過程において必要がある場合は本人、保護者又は学校関係者に照会することがありますので、ご注意ください。

※先端融合テクノロジー連携教育プログラムの選抜は、推薦、学力選抜（前期のみ）及び社会人特別選抜の合格者から、同プログラム履修を希望する者に豊橋技術科学大学第3年次入学者選抜を実施します。豊橋技術科学大学での選抜で不合格となった場合でも、本校専攻科への入学は保障されます。

先端融合テクノロジー連携教育プログラムの選抜については、6～9頁をご確認ください。

### V その他の注意事項

- (1) 選抜当日は、「受検票」を必ず携帯してください。
- (2) 受検のための宿舎は斡旋しませんので、各自で手配してください。
- (3) 入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更した時は、直ちに本校学生課教務係（入試担当）に届け出てください。

### VI 個人情報の取扱い

提出された専攻科入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

## 推薦による選抜

### 1 出願資格

推薦による入学者選抜に出願できる者は、令和4年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、次の各号に該当する者のうち、在学する高等専門学校長が適格者として推薦できる者とする。

- ① 次の学科に在籍していること。  
機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、環境都市工学科、建築学科又はこれらと同等の内容のカリキュラムを実施している学科
- ② 第4学年の全ての履修科目（未修得科目を含む）の学年成績平均が、10段階評価の7以上であること。
- ③ 2019年5月19日以降に受験したTOEICテスト（TOEIC-IPテストを含む）でスコア325点以上またはTOEFL iBTでスコア33点以上を取得していること。

### 2 出願手続

- (1) 願書受付期間 令和3年5月10日（月）から令和3年5月12日（水）まで  
郵送の場合は簡易書留速達とし、期間内に必着のこと
- (2) 願書受付時間 8時30分から17時まで
- (3) 願書受付場所 岐阜工業高等専門学校 学生課教務係（入試担当）  
住所 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2  
電話 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）

### 3 提出書類等

提出書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
② 調査書	本校所定の用紙に、在学する学校の校長が作成し厳封したもの ※高等学校または高等専門学校から第4学年に編入学または転入学した者は、その出身学校等の校長等が作成し、厳封したものも提出すること
③ 学業成績証明書	任意の様式に調査書内評価基準による「成績評価」を表記したもの 本校在學生は提出不要
④ 推薦書	本校所定の用紙に、在学する学校の校長または所属学科長が作成したもの
⑤ 自己申告書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
⑥ 写真票及び受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの
⑦ 入学検定料 「振込受付証明書」 提出票	16,500円 別添の検定料払込書にて納入し、学校提出用を貼付したもの 払込期間：令和3年4月7日（水）～令和3年5月11日（火）
⑧ TOEICスコア証明書 または TOEFL iBT スコアレポート	2019年5月19日以降に受験した、TOEICテストの「公式認定証（Official Score Certificate）」またはTOEIC-IPテストの「個人成績表（Score Report）」またはTOEFL iBTの「公式スコアレポート」のいずれか一種 についての以下の書類を各1部提出すること ・証明書（原本）1部（確認後に原本はお返しします） ・証明書をA4サイズ用紙に白黒コピーした原本と相違ないもの 1部

### 4 選抜方法

推薦による入学者の選抜は、在学する高等専門学校長または所属学科長から提出された推薦書、調査書、自己申告書及び面接検査の結果を総合して判断します。

選抜検査（面接）の日時 令和3年5月19日（水）15時00分～

### 5 合格判定基準

面接検査（自己申告書を含む）において、得点率50%以上を取得し、調査書審査の得点が、上位の者から順に別に定める可否判定方法に従い合格者を決定します。

### 6 合格者の発表

日時 令和3年5月27日（木）16時30分

本校構内に掲示するとともに、合格者には、「合格通知書」を送付し、併せて推薦者宛に可否を文書で通知します。

合格者の受検番号を本校のホームページ（<http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に掲載します。正式な合格の確認は「合格通知書」によります。なお、電話による可否の照会には一切応じられません。

### 7 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和3年6月3日（木）17時までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

## 学力検査による選抜（前期・後期）

### 1 出願資格

学力検査による入学者選抜に出願できる者は、以下の各号のいずれかに該当し、機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、環境都市工学科、建築学科又はこれらと同等の内容の課程を履修している者とする。

- ① 高等専門学校を卒業した者及び令和4年3月に高等専門学校を卒業見込みの者
- ② 高等学校の専攻科の課程を修了した者及び令和4年3月に高等学校の専攻科の課程を修了見込みの者のうち、学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
- ③ 短期大学を卒業した者及び令和4年3月に短期大学を卒業見込みの者
- ④ 専修学校の専門課程を修了した者及び令和4年3月に専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- ⑤ 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑦ わが国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑨ 2019年5月19日以降に受験した TOEIC テスト（TOEIC-IP テストを含む）でスコア325点以上または TOEFL iBT でスコア33点以上を取得している者

### 2 出願手続

- (1) 願書受付期間 〈前期〉 令和3年6月7日（月）から令和3年6月9日（水）まで  
〈後期〉 令和3年10月25日（月）から令和3年10月27日（水）まで  
郵送の場合は簡易書留速達とし、期間内に必着のこと
- (2) 願書受付時間 8時30分から17時まで
- (3) 願書受付場所 岐阜工業高等専門学校 学生課教務係（入試担当）  
住 所 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2  
電 話 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）

### 3 提出書類等

提出書類等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
② 調 査 書	本校所定の用紙に、出身（在学）学校の校長（学長）が作成し、厳封したもの ※高等専門学校第3及び第4学年に相当する学年の内容を含むものを提出すること（複数の学校等に及ぶ場合は、それぞれの学校等において作成すること） 学業成績の評価については、本校所定の用紙に記載されている評価基準によって算出した全ての修得科目の学年成績平均値及び第4学年開設科目で修得した全ての専門科目の成績平均値を小数点以下第2位まで記入すること ※算出が困難な場合は、事前に学生課教務係（入試担当）までお問い合わせください
③ 学業成績証明書	任意の様式に調査書内評価基準による「成績評価」を表記したもの 本校在学学生及び卒業生は提出不要
④ 自 己 申 告 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
⑤ 写真票及び受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの
⑥ 入学検定料 「振込受付証明書」 提出 票	16,500円 別添の検定料払込書にて納入し、学校提出用を貼付したもの 振込期間：〈前期〉 令和3年5月10日（月）～令和3年6月8日（火） 〈後期〉 令和3年10月4日（月）～令和3年10月26日（火）
⑦ TOEICスコア証明書 または TOEFL iBT スコアレポート	2019年5月19日以降に受験した、TOEIC テストの「公式認定証（Official Score Certificate）」または TOEIC - IP テストの「個人成績表（Score Report）」または TOEFL iBT の「公式スコアレポート」のいずれか一種についての以下の書類を各1部提出すること ・ 証明書（原本） 1部（確認後に原本はお返しします） ・ 証明書を A4 サイズ用紙に白黒コピーした原本と相違ないもの 1部
⑧ 出 願 承 認 書	本校所定の用紙に、所属の長が作成したもの（企業等在籍者のみ）
⑨ 受検票返信用封筒	（郵送出願者のみ）長形三号封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、384円分の切手（速達郵便料金）を貼付したものを 出願者1人につき1通ずつ同封してください。

#### 4 選抜方法

学力による入学者の選抜は、出身（在学）学校長の証明する調査書及び学力検査の結果を総合して判断します。

(1) 学力検査科目 英語及び数学

- ① 英語については、2019年5月19日以降に受験した TOEIC テスト（TOEIC-IP テストを含む）の325点以上のスコア、または TOEFL iBT の33点以上のスコアのいずれか出願者が選択したものを次の計算式によって換算し、学力検査の得点とします。

（TOEIC325点未満、または TOEFL iBT33点未満は、次項に示す合格判定基準を満たさないの  
で合格判定対象外となります。）

英語得点 = (TOEIC スコア + 275) × 0.1, または (TOEFL iBT スコア - 33) × 8 ÷ 9 + 60  
ただし、英語得点の小数点以下は切り捨て、TOEIC スコア725以上、または TOEFL iBT スコア78以上は100点とする。

- ② 数学については、次の出題範囲とします。

検査科目	出題範囲
数学	微分積分（必須） 導関数、不定形の極限、不定積分、定積分、偏微分、重積分
	線形代数（選択） 連立1次方程式と行列、逆行列、行列式、固有値、固有ベクトル
	微分方程式（選択） 変数分離形、同次形、1階線形微分方程式、2階定係数斉次線形微分方程式、 2階定係数非斉次線形微分方程式
	応用数学（選択） ベクトル解析

上記のうち「微分積分」を必須とする。残り3項目（「線形代数」「微分方程式」「応用数学」）は選択とし、2項目を選択する。

(2) 調査書

高等専門学校第4学年（他機関に所属する場合は該当する学年）開設科目において修得した全ての専門科目の10段階評価の平均値を10倍したものを調査書点とします。ただし、小数点以下は切り捨てとする。

(3) 選抜検査の日程

期 日	前 期	6月16日（水）
	後 期	11月10日（水）
時 間	15:00～16:30	
科 目	数 学	

#### 5 合格判定基準

学力検査の各科目において、得点率60%以上を取得し、①学力検査点（200点）と②調査書点（100点）の総得点300点について、上位の者から順に別に定める合否判定方法に従い合格とします。

評価項目	評価項目の概要	配点
①学力検査点	100点×2教科（英語、数学）=200点	200点
②調査書点	100点	100点
総得点		300点

#### 6 合格者の発表

日時 〈前期〉令和3年6月24日（木）16時30分

〈後期〉令和3年11月18日（木）16時30分

本校構内に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

合格者の受検番号を本校のホームページ（<http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に掲載します。正式な合格の確認は「合格通知書」によります。なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

#### 7 入学意志確認書の提出

(1) 合格通知を受けた者は、「入学意志確認書」を必ず提出してください。

(2) 提出期限 〈前期〉令和3年9月16日（木）17時

〈後期〉令和3年12月6日（月）17時

## 社会人特別選抜

### 1 出願資格

社会人特別選抜に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者のうち在職する企業等の長が適格者として推薦できる者とする。

- ① 高等専門学校を卒業した者
- ② 短期大学を卒業した者
- ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者

### 2 出願手続

- (1) 願書受付期間 令和3年5月10日(月)から令和3年5月12日(水)まで  
郵送の場合は簡易書留速達とし、期間内に必着のこと
- (2) 願書受付時間 8時30分から17時まで
- (3) 願書受付場所 岐阜工業高等専門学校 学生課教務係(入試担当)  
住所 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2  
電話 058-320-1260(学生課教務係(入試担当)直通)

### 3 提出書類等

提出書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
② 調査書	本校所定の用紙に、出身学校の校長(学長)が作成し、厳封したもの ※高等専門学校第3及び第4学年に相当する学年の内容を含むものを提出すること(複数の学校等に及ぶ場合は、それぞれの学校等において作成すること) 学業成績の評価については、本校所定の用紙に記載されている評価基準によって算出した全ての修得科目の学年成績平均値を小数点以下第2位まで記入すること ※算出が困難な場合は、事前に学生課教務係(入試担当)までお問い合わせください
③ 学業成績証明書	任意の様式に、調査書内評価基準による「成績評価」を表記したもの 本校卒業生は提出不要
④ 推薦書	本校所定の用紙に、所属企業等の長が作成したもの
⑤ 自己申告書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
⑥ 写真票及び受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの
⑦ 入学検定料 「振込受付証明書」 提出票	16,500円 別添の検定料払込書にて納入し、学校提出用を貼付したもの 払込期間：令和3年4月7日(水)～令和3年5月11日(火)
⑧ 受検票返信用封筒	長形三号封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、384円分の切手(速達郵便料金)を貼付したものを出願者1人につき1通ずつ同封してください。

### 4 選抜方法

社会人特別選抜は、出身学校の校長または学長から提出された調査書、在職する企業等の長が作成した推薦書、自己申告書及び面接検査の結果を総合して判断します。

選抜検査(面接)の日時 令和3年5月19日(水)15時00分～

### 5 合格判定基準

面接検査(自己申告書を含む)において、得点率50%以上を取得し、得点の上位の者から順に別に定める合否判定方法に従い合格とします。

### 6 合格者の発表

日時 令和3年5月27日(木)16時30分

本校構内に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付し、併せて推薦者宛に合否を文書で通知します。

合格者の受検番号を本校のホームページ(<http://www.gifu-nct.ac.jp/>)に掲載します。正式な合格の確認は「合格通知書」によります。なお、電話による合否の照会には一切応じられません。

### 7 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和3年6月3日(木)17時までに「入学確約書」を提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。



## 先端融合テクノロジー連携教育プログラム

### 1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本校専攻科先端融合開発専攻における受入方針を、以下のように定めます。

- (1) 国際的視野を持ち、先端技術の融合により世界の持続的成長に貢献するものづくりの技術的能力の獲得を目指している人
- (2) 産業界の要請に対して、創造的手法により革新的な価値創生を実現できる融合的な開発的能力の習得を目指している人
- (3) 高専本科などにおいて、基盤となる専門科目を習得したのちに、さらに融合分野の学修や研究に強い意欲を持つ人

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、豊橋技術科学大学では学部・大学院一貫教育に重点を置いた特色ある技術科学教育を通じて、豊かな人間性と自然と共生する心を持ち、グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者を育成します。このため、豊橋技術科学大学では次のような人物を広く求めます。

- (1) 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する志を持つ人
- (2) 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
- (3) 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

### 2 募集人員

専攻及びプログラム名	募集人員
先端融合開発専攻 先端融合テクノロジー連携教育プログラム	若干名

### 3 選抜方針

入学者の選抜は、本校における選抜及び豊橋技術科学大学における選抜の2段階選抜により行い、本プログラムでの勉学に支障のない学力、目的意識及び学習意欲を十分に備えた人物を選抜します。

### 4 出願資格

本校の一般の専攻科入学者選抜検査の出願資格に同じ

### 5 出願手続

- (1) 願書受付期間 <推薦選抜>令和3年5月10日（月）から令和3年5月12日（水）まで  
<学力選抜>令和3年6月7日（月）から令和3年6月9日（水）まで  
郵送の場合は簡易書留速達とし、期間内に必着のこと
- (2) 願書受付時間 8時30分から17時まで
- (3) 願書受付場所 岐阜工業高等専門学校 学生課教務係（入試担当）  
住 所 〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2  
電 話 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）

## 6 提出書類等

提出書類等		摘 要
①	入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
②	調 査 書	本校所定の用紙に、在学する学校の校長が作成し厳封したもの <b>〈推薦選抜〉</b> ※高等学校または高等専門学校から第4学年に編入学または転入学した者は、その出身学校等の校長等が作成し、厳封したものも提出すること <b>〈学力選抜〉</b> ※高等専門学校第3及び第4学年に相当する学年の内容を含むものを提出すること (複数の学校等に及ぶ場合は、それぞれの学校等において作成すること) 学業成績の評価については、本校所定の用紙に記載されている評価基準によって算出した全ての修得科目の学年成績平均値及び第4学年開設科目で修得した全ての専門科目の成績平均値を小数点以下第2位まで記入すること ※算出が困難な場合は、事前に学生課教務係(入試担当)までお問い合わせください
③	学 業 成 績 証 明 書	任意の様式に調査書内評価基準による「成績評価」を表記したもの 本校在籍生及び卒業生は提出不要
④	(推薦選抜のみ) 推 薦 書	本校所定の用紙に、在学する学校の校長または所属学科長が作成したもの
⑤	自 己 申 告 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの
⑥	写 真 票 及 び 受 検 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付したもの
⑦	入 学 検 定 料 「振込受付証明書」 提 出 票	16,500円 別添の検定料払込書にて納入し、学校提出用を貼付したもの 払込期間： <b>〈推薦選抜〉</b> 令和3年4月7日(水)～令和3年5月11日(火) <b>〈学力選抜〉</b> 令和3年5月10日(月)～令和3年6月8日(火)
⑧	TOEIC スコア証明書 ま た は T O E F L i B T ス コ ア レ ポ ー ト	2019年5月19日以降に受験した、TOEICテストの「公式認定証(Official Score Certificate)」またはTOEIC-IPテストの「個人成績表(Score Report)」の以下の書類を各1部提出すること <b>学力選抜</b> は、TOEFL iBT「公式スコアレポート」も可とし、いずれか一種 ・証明書(原本) 1部 (確認後に原本はお返しします) ・証明書をA4サイズ用紙に白黒コピーした原本と相違ないもの 1部
⑧	(学力選抜のみ) 出 願 承 認 書	本校所定の用紙に、所属の長が作成したもの(企業等在籍者のみ)
⑨	受 検 票 返 信 用 封 筒	(郵送出願者のみ) 長形三号封筒に住所・氏名及び郵便番号を明記し、384円分の切手(速達郵便料金)を貼付したものを出願者1人につき1通ずつ同封してください。

## 7 選抜方法

本校で実施する一般の「推薦による選抜」、「学力による選抜(前期)」または「社会人特別選抜」の合格者に対して、さらに豊橋技術科学大学で選抜検査が実施されます。

本校の選抜方法は、次のとおりです。豊橋技術科学大学の選抜方法については、豊橋技術科学大学の募集要項を参照してください。

なお、豊橋技術科学大学での選抜で不合格となった場合でも、本校選抜合格者は本校専攻科には入学することができます。

(1) **推薦による入学者の選抜**は、在学する高等専門学校長または所属学科長から提出された推薦書、調査書、自己申告書及び面接検査の結果を総合して判断します。

① 選抜検査(面接)の日時：令和3年5月19日(水)15時00分～

(2) **学力による入学者の選抜**は、出身(在学)学校長の証明する調査書及び学力検査の結果を総合して判断します。

① 学力検査科目 英語及び数学

㊦ 英語については、2019年5月19日以降に受験したTOEICテスト(TOEIC-IPテストを含む)

の325点以上のスコア，または TOEFL iBT の33点以上のスコアのいずれか出願者が選択したものを次の計算式によって換算し，学力検査の得点とします。

(TOEIC325点未満，または TOEFL iBT33点未満は，次項に示す合格判定基準を満たさないで合格判定対象外となります。)

英語得点 = (TOEIC スコア + 275) × 0.1，または (TOEFL iBT スコア - 33) × 8 ÷ 9 + 60  
ただし，英語得点の小数点以下は切り捨て，TOEIC スコア725以上，または TOEFL iBT スコア78以上は100点とする。

(f) 数学については，次の出題範囲とします。

検査科目	出題範囲
数学	微分積分 (必須) 導関数，不定形の極限，不定積分，定積分，偏微分，重積分
	線形代数 (選択) 連立1次方程式と行列，逆行列，行列式，固有値，固有ベクトル
	微分方程式 (選択) 変数分離形，同次形，1階線形微分方程式，2階定係数斉次線形微分方程式， 2階定係数非斉次線形微分方程式
	応用数学 (選択) ベクトル解析

上記のうち「微分積分」を必須とする。残り3項目(「線形代数」「微分方程式」「応用数学」)は選択とし，2項目を選択する。

② 調査書

高等専門学校第4学年(他機関に所属する場合は該当する学年)開設科目において修得した全ての専門科目の10段階評価の平均値を10倍したものを調査書点とします。ただし，小数点以下は切り捨てとする。

③ 選抜検査の日時：令和3年6月16日(水)15時00分～16時30分

科目：数学

## 8 合格判定基準

<推薦選抜> 面接検査(自己申告書を含む)において，得点率50%以上を取得し，調査書審査の得点が，上位の者から順に別に定める合否判定方法に従い合格者を決定します。

<学力選抜> 学力検査の各科目において，得点率60%以上を取得し，①学力検査点(200点)と②調査書点(100点)の総得点300点について，上位の者から順に別に定める合否判定方法に従い合格とします。

評価項目	評価項目の概要	配点
①学力検査点	100点×2教科(英語，数学) = 200点	200点
②調査書点	100点	100点
	総得点	300点

## 9 合格者の発表

日時 <推薦選抜> 令和3年5月27日(木)16時30分

<学力選抜> 令和3年6月24日(木)16時30分

本校構内に掲示するとともに，合格者には，「合格通知書」を送付し，併せて推薦者宛に合否を文書で通知します。

合格者の受検番号を本校のホームページ(<http://www.gifu-nct.ac.jp/>)に掲載します。正式な合格の確認は「合格通知書」によります。なお，電話による合否の照会には一切応じられません。

## 10 入学確約書または受験意思確認書の提出

合格通知を受けた者は，次の期限までに「入学確約書」等を提出してください。

なお，期限までに「入学確約書」等を提出しない者は，本プログラムへの入学意思がないものとして取り扱います。

推薦選抜：令和3年6月3日(木)17時

学力選抜：令和3年6月28日(月)17時

## 11 出願に関する注意事項

- (1) 提出書類等に不備があるものは受理できません。
- (2) 提出書類に虚偽の記載が認められたときは、入学を取り消すことがあります。
- (3) 書類提出後は、記載事項の変更は認められません。
- (4) 本校が受理した書類及び検定料は返還できません。ただし、検定料については次の場合に返還請求ができますので、学生課教務係（入試担当）までご連絡ください。
  - ・ 検定料を納付したが出願しなかった場合
  - ・ 検定料を重複で納付した場合
- (5) 自然災害に伴う入学検定料免除の臨時措置がとられた場合には、その対象及び内容について本校のホームページ（<http://www.gifu-nct.ac.jp/>）に掲載しますので、ご注意ください。
- (6) 障がい有者等で、受検上もしくは修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、事前相談をしてください。

選抜区分	事前相談申請締切日	提出書類
推薦選抜	4月30日（金）	①事前相談申請書（申請書は、学生課教務係（入試担当）に請求してください）
学力選抜	5月28日（金）	②障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

上記により提出された申請書等に基づき、本校の取るべき措置等を検討します。

なお、検討する過程において必要がある場合は本人、保護者又は学校関係者に照会することがありますので、ご注意ください。

## 12 その他の注意事項

- (1) 選抜当日は、「受検票」を必ず携帯してください。
- (2) 受検のための宿舎は斡旋しませんので、各自で手配してください。
- (3) 入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更した時は、直ちに本校学生課教務係（入試担当）に届け出てください。

## 13 個人情報の取扱い

提出された専攻科入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

# 入学案内

## 1 設置

平成7年4月1日

## 2 目的

専攻科は、高等専門学校の基本の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授し、その研究を指導することを目的とする。

## 3 専攻及び入学定員

先端融合開発専攻 20名

## 4 修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2か年
- (2) 修了要件 62単位（一般科目8単位、専門科目54単位）以上修得

## 5 修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

本校では、下記の人材の養成を目的としています。所定の年限在籍し、以下に示す能力・技術の素養を身につけて、専攻科が規定する単位を修得したものに修了を認定します。

《養成すべき人材像（全学科・専攻科共通）》

「科学技術に夢を託し、人類愛に目覚め国際性豊かで情報化社会の最前線で活躍する技術者」

《修了生が修得すべき能力・技術の素養》

- (A) 主体的学習能力
  - ① 技術者として必要となる自己管理能力、責任感、チームワーク力、体力等を持つことができる
  - ② 未来指向型のキャリアデザイン力を身につけることができる
- (B) 創造的思考力
  - ① 新たな課題や実務上の問題点を理解して、自発的に課題を解決する計画を立案することができる
  - ② 基礎知識等を活用しながら、その計画を継続して実行することができる
- (C) 国際的対応力
  - ① 人文・社会科学の知識を活用し、グローバルな視点で社会問題や環境問題を捉えることができる
  - ② 日本語および一つ以上の外国語を用いたコミュニケーション能力を身につけることができる
- (D) 専門的能力
  - ① 数学や自然科学を基礎とした専門分野の基礎知識・能力を身につけることができる
  - ② 実験・実習で得られるデータの測定、処理および考察に関する実践的技術を身につけることができる
- (E) 情報通信技術
  - ① 情報リテラシーを身につけることができる
  - ② 情報機器等を使いこなし、専門分野で必要とされる情報を収集・活用・発信することができる

《専攻科における養成すべき人材像》

先端融合開発専攻は、(D) 専門分野をさらに深めることに取り組むとともに、これと異なる分野の技術システムを理解して、機械工学、電気電子工学、情報工学、土木工学、建築学などを融合した問題解決手段により、(A) 主体性・多様性・協働性など的人間力・思考力・表現力などの(B) 創造的な思考力、柔軟な(C) 国際的対応力および(E) 情報通信技術をもって、世界の持続的な発展に貢献しうる能力を有する人材を育成します。

## 6 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本校では、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、次に示す科目群を用意しています。

## 《全学科・専攻科共通》

### (A) 主体的学習能力

主体的な学習態度を養うため、低学年において各専門学科の動機付け科目、入門的な科目を用意しています。また自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップなどの素養を身につけることを目的とした各種実験・実習・演習系科目を各学年に用意しています。さらに、生涯にわたり継続的に活動できる心身ともに健康な技術者を目指して保健体育、キャリア教育支援プログラムに関わる科目群や学生の主体的参加型の活動を用意しています。

(A-1) 主体性の涵養

(A-2) 保健体育及び芸術

(A-3) キャリアデザイン能力

### (B) 創造的思考力

各学科、専攻科において創造的な工学実験、実習、演習および卒業研究、特別研究により、課題を発見する思考力や計画から実行までを含めた課題解決能力を養うための科目群を用意しています。また専攻科では、異分野対応力を養うことを目的とした横断型の実習科目を用意しています。

(B-1) 創成型活動

(B-2) エンジニアリングデザイン能力

### (C) 国際的対応力

グローバルな技術者として必要となる一般的な教養科目群（人文・社会科学）を低学年から用意しています。また、国際的に通用するコミュニケーションツールとしての英語をすべての学年で用意し、高学年では第二外国語を用意しています。

(C-1) 一般教養

(C-2) コミュニケーション能力

### (D) 専門的能力

<専攻科課程>準学士課程で身につけた各専門分野（機械工学分野、電気電子工学分野、情報工学分野、土木工学分野、建築学分野）の専門的能力をさらに深める科目群を用意しています。また、異なる分野を融合した問題解決手段により、新しいものづくりを開発するために必要な能力を身につける科目群を用意しています。

(D-1) 理学

(D-2) 先端融合開発学域

(D-3) 専門分野（機械工学分野、電気電子工学分野、情報工学分野、土木工学分野、建築学分野）

(D-4) 技術者倫理

### (E) 情報通信技術

情報リテラシー科目を低学年で配置するとともに、情報機器等を用いる科目や情報処理能力の向上を目的とした実習・演習系科目を用意しています。

(E-1) 情報リテラシー

(E-2) 情報機器活用能力

## 《専攻科先端融合開発専攻》

**先端融合開発専攻の主体的学習能力を涵養するための科目群：**1年次から実践的な実験実習科目を設け、2年次には社会問題解決能力を育む実験実習科目と教育課程の総まとめとなる特別研究を用意しています。

**先端融合開発専攻の創造的思考力を身につけるための科目群：**創造的思考力を涵養するために実践的な実験実習科目、および社会問題解決能力を育む実験実習科目と教育課程の総まとめとなる特別研究を用意しています。

**先端融合開発専攻の国際的対応力を身につけるための科目群：**国際的対応力を涵養するために、一般教養を育む社会倫理科目とコミュニケーション能力を育む英語科目を用意しています。

**先端融合開発専攻の専門的能力に関する科目群：**機械工学、電気電子工学、情報工学、土木工学、および建築学を基礎とし、各分野の融合を含めた科目群に加え、科学・数学等の理学系科目と技術者倫理科目を用意しています。

**先端融合開発専攻の情報通信技術を身につけるための科目群：**情報通信技術を涵養するために、情報機器の活用能力を育む情報工学系の講義科目と実験実習科目を用意しています。

教育課程（13頁）の詳細やシラバス（授業計画書）は、本校のホームページに公開されています。

## 7 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本校専攻科では、高等専門学校の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授し、その研究を指導することを目的としています。このような教育理念のもと、本校における受入方針は、ディプロマ・ポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学さ

せるためのものです。具体的には、次のような人を求めています。

- (1) 国際的視野を持ち、先端技術の融合により世界の持続的成長に貢献するものづくりの技術的能力の獲得を目指している人
- (2) 産業界の要請に対して、創造的手法により革新的な価値創生を実現できる融合的な開発的能力の習得を目指している人
- (3) 高専本科などにおいて、基盤となる専門科目を習得したのちに、さらに融合分野の学修や研究に強い意欲を持つ人

## 8 学士の学位取得

専攻科先端融合開発専攻の学生は、在学中に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の行う審査を受けて「学士（工学）」の学位を取得することができます。本専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より特例適用専攻科に認定されていますので、学修成果レポートの提出と小論文試験を受ける必要はありません。ただし、単位取得状況によっては特例適用の対象とならず、個別に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学修成果レポートの提出と小論文試験を受ける場合があります。

先端融合テクノロジー連携教育プログラムの学生は、大学（豊橋技術科学大学）の定める卒業、学位授与の要件をみたすことで「学士（工学）」の学位を取得することができます。

## 9 入学時に必要な経費

(予定)

費 目	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	
授 業 料	117,300円	年額234,600円を2期に分けて納入する。一括納入もできます。
独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金	1,550円	年額
教 育 後 援 会 入 会 金	4,800円	入学時のみ
教 育 後 援 会 費	22,000円	年額
若 鮎 会 費	5,200円	入学時のみ
教 科 書 ・ 教 材 費 等	30,000円程度	履修状況により異なります。

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 10 入学料・授業料等の免除

### (1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考のうえ入学料の全額又は半額を免除、あるいは、その徴収を猶予することがあります。

### (2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められた者、風水害等による災害を受け納付困難と認められた者には、選考のうえ授業料の全額又は半額を免除、あるいは、その徴収を猶予することがあります。

### (3) 災害救助法の適用を受けている者の入学料・授業料等免除

学生の居住地又は学資負担者の居住地又は勤務地が、災害救助法の適用を受けた日から1年以内であって、罹災に伴う学資負担者の死亡又は失職等により家計が急変した者、又は住居半壊以上の被害を受けた者については、選考のうえ入学料・授業料等を全額免除することがあります。

## 11 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免と給付奨学金）

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度は本校も対象です。

学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学料及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます。

制度の詳細については、文部科学省ホームページを参照してください。

## 12 奨学金貸与制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学資の支弁が困難と認められ、かつ学業成績・人物ともに優れ、健康である者に対し、本人の申請に基づき、選考のうえ日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

先端融合開発専攻教育課程（令和2年度以降入学生）

区分	授業科目	授業種別	単位数	開講時期		備考	
				1年次	2年次		
一般科目	社会倫理学特論	講義	2		2		
	英語特講1	講義	2	2			
	英語特講2	講義	2	2			
	必修科目開設単位数計		6	4	2		
	文学	講義	2		2		
	英語演習1	演習	1		1		
	英語演習2	演習	1		1		
	先端数学入門	講義	2	2			
	選択科目開設単位数計		6	2	4		
	一般科目開設単位数合計		12	6	6		
一般科目修得単位数合計			8単位以上修得				
専門基礎科目	生命科学	講義	2	2			
	物質化学	講義	2		2		
	情報機器工学	講義	2	2			
	応用物理学	講義	2	2			
	創造工学実習	実験実習	2		2		
	必修科目開設単位数計		10	6	4		
	国際連携実習1	実験実習	1	1			
	国際連携実習2	実験実習	1		1		
	ヒューマンインターフェースデザイン	講義	2		2		
	計算力学	講義	2	2			
	環境生能工学	講義	2	2			
	量子力学	講義	2	2			
	統計力学	講義	2		2		
	情報工学	講義	2		2		
	応用数学特論	講義	2	2			
	企業経営概論	講義	2	2			
	プロジェクトマネジメント	講義	2		2		
	科学技術リテラシー教育実習	実験実習	2	2			
	先端実験入門	講義	2		2		
	選択科目開設単位数計		24	13	11		
	専門基礎科目開設単位数計		34	19	15		
	専門科目	特別実験	実験実習	4	4		
		特別実習1	実験実習	2	2		
		特別研究1	実験実習	6	6		
		特別研究2	実験実習	8		8	
必修科目開設単位数計			20	12	8		
医療福祉工学特論		講義	2	2			
画像情報処理		講義	2		2		
メカトロニクス特論		講義	2	2			
航空宇宙工学特論		講義	2	2			
空気力学特論		講義	2		2		
材料分析工学		講義	2	2			
リノベーションデザイン論		講義	2	2			
循環型社会特論		講義	2	2			
新エネルギー特論		講義	2		2		
維持管理工学		講義	2		2		
環境材料学		講義	2	2			
環境計画学		講義	2		2		
拡散現象論		講義	2	2			
回路網学		講義	2	2			
電気機器特論		講義	2		2		
デジタルシステム基礎		講義	2	2			
建設計画学		講義	2	2			
水管理工学		講義	2		2		
建設振動学特論		講義	2	2			
構造解析学特論		講義	2	2			
環境調整工学	講義	2	2				
都市形成論	講義	2		2			
特別実習2	実験実習	1	1				
選択科目開設単位数計		45	23	22			
専門展開科目開設単位数計		65	35	30			
専門科目開設単位数合計		99	54	45			
専門科目修得単位数合計		54単位以上修得					
開設単位数合計		111	60	51			
一般科目・専門科目修得単位数合計		62単位以上修得					

先端融合開発専攻 連携教育プログラム教育課程

（先端融合テクノロジー連携教育プログラム）

一般基礎科目（令和2年度以降入学生）

区分	授業科目	授業種別	単位数	開講時期		備考
				1年次	2年次	
外国語科目	英語特講1	講義	2	2		
	英語特講2	講義	2	2		
	英語演習1	演習	1		1	
	英語演習2	演習	1		1	
	豊橋技術科学大学開設 外国語科目(※1)					4単位以上
文・社会科学科目	社会倫理学特論	講義	2		2	
	文学	講義	2		2	
	企業経営概論	講義	2	2		
	プロジェクトマネジメント	講義	2		2	
芸術系科目	生命科学(※2)	講義	2	2		
	環境生能工学(※2)	講義	2	2		
	豊橋技術科学大学開設 芸術系科目(※1)					5単位以上
	豊橋技術科学大学開設 芸術系科目(※1)					
一般基礎科目開設単位数合計		18	10	8		
一般基礎科目修得単位数合計		15単位以上				

専門科目

区分	授業科目	授業種別	単位数	開講時期		備考
				1年次	2年次	
共同開設科目	卒業研究ⅠA	実験実習	4	4		
	卒業研究ⅠB(※1)	実験実習	4	4		
	卒業研究ⅡA	実験実習	4		4	
	卒業研究ⅡB(※1)	実験実習	4		4	
	先端融合テクノロジーセミナーⅠ	演習	2	2		
	先端融合テクノロジーセミナーⅡ(※1)	演習	2		2	
	実務訓練A(※1)	実験実習	2	2		
	実務訓練B(※1)	実験実習	2	2		
	共同開設科目単位数合計		24	14	10	
	専門科目(共同開設科目以外)	先端数学入門	講義	2	2	
応用数学特論		講義	2	2		
応用物理学		講義	2	2		
物質化学		講義	2		2	
量子力学		講義	2	2		
統計力学		講義	2		2	
情報機器工学		講義	2	2		
ヒューマンインターフェースデザイン		講義	2		2	
計算力学		講義	2	2		
情報工学		講義	2		2	
先端実験入門		講義	2		2	
医療福祉工学特論		講義	2	2		
画像情報処理		講義	2		2	
メカトロニクス特論		講義	2	2		
航空宇宙工学特論		講義	2	2		
空気力学特論		講義	2		2	
材料分析工学		講義	2	2		
リノベーションデザイン論		講義	2	2		
循環型社会特論		講義	2	2		
新エネルギー特論		講義	2		2	
維持管理工学		講義	2		2	
環境材料学		講義	2	2		
環境計画学		講義	2		2	
拡散現象論		講義	2	2		
回路網学		講義	2	2		
電気機器特論		講義	2		2	
デジタルシステム基礎		講義	2	2		
建設計画学		講義	2	2		
水管理工学		講義	2		2	
建設振動学特論		講義	2	2		
構造解析学特論		講義	2	2		
環境調整工学		講義	2	2		
都市形成論		講義	2		2	
特別実験		実験実習	4	4		
創造工学実習		実験実習	2		2	
国際連携実習1	実験実習	1	1			
国際連携実習2	実験実習	1		1		
科学技術リテラシー教育実習	実験実習	2	2			
特別実習1	実験実習	2	2			
特別実習2	実験実習	1	1			
豊橋技術科学大学開設 専門科目(※1)						
専門科目(共同開設科目以外)開設単位数合計		79	44	35		
専門科目(共同開設科目を含む)開設単位数合計		103	58	45		
専門科目(共同開設科目を含む)修得単位数合計		47単位以上				

先端融合テクノロジー連携教育プログラム 開設単位数合計	121	68	53
先端融合テクノロジー連携教育プログラム 修得単位数合計	62単位以上		

- (※1) 豊橋技術科学大学開設科目
- (※2) 豊橋技術科学大学開設必修科目（生命科学、環境科学）への読み替え可
- (※3) 豊橋技術科学大学開講科目群からの専攻科修了要件への算入は30単位を上限とする
- (※4) 豊橋技術科学大学の科目表を参照し卒業要件を確認すること



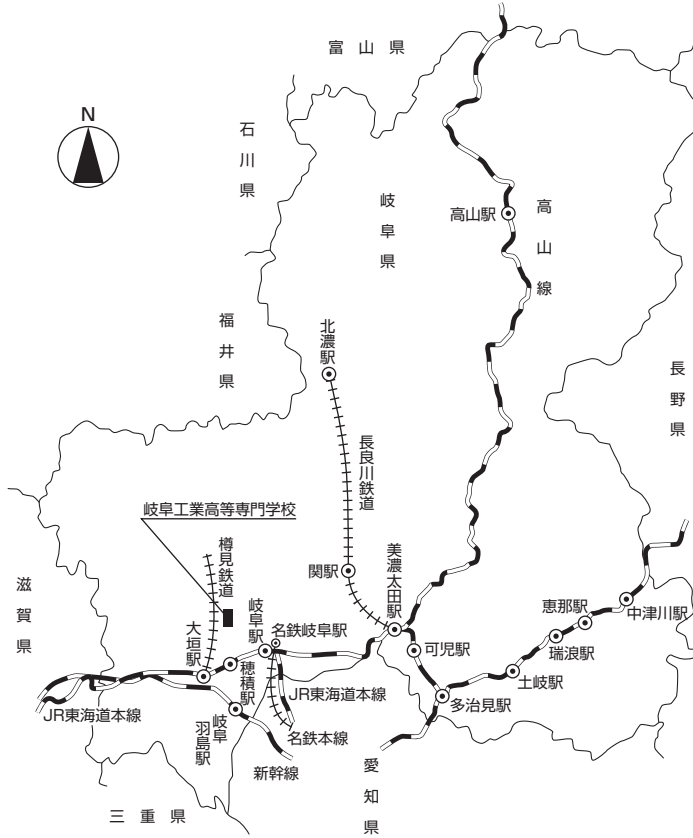
## 専攻科入学願書

受 検 番 号		※				
区 分		推薦による選抜	学力検査による選抜	社会人特別選抜		
志 願 者	ふりがな	こうせん たろう		男	生年月日	平成 13 年 4 月 5 日生
	氏 名	高 専 太 郎		女		
	現 住 所	岐阜県本巣市上真桑2236番2 本巣アパート〇〇号室				
	郵便番号	5 0 1 - 0 4 6 1	電話番号	〔自宅・携帯〕 ××× - ×××× - ××××		
	勤務先名					
	勤務先住所	〒 - TEL ( ) -				
	最終学歴	最終学校名 岐阜工業高等専門学校		機械工 学科		
		令和 4 年 3 月		卒業・卒業見込 修了・修了見込		
	中 学 校 卒業後の学歴 及び 職 歴	年	月	学 歴 ・ 履 歴		
		平成 29	4	岐阜工業高等専門学校 機械工学科 入学		
	令和 4	3	岐阜工業高等専門学校 機械工学科 卒業見込			
合格通知書 等受信場所	<input checked="" type="checkbox"/> 現住所に同じ（現住所と同じ場合は、□に✓を記入し、住所・電話番号の記入は不要です。） 住所 〒 - 電話番号〔自宅・携帯〕 - -					

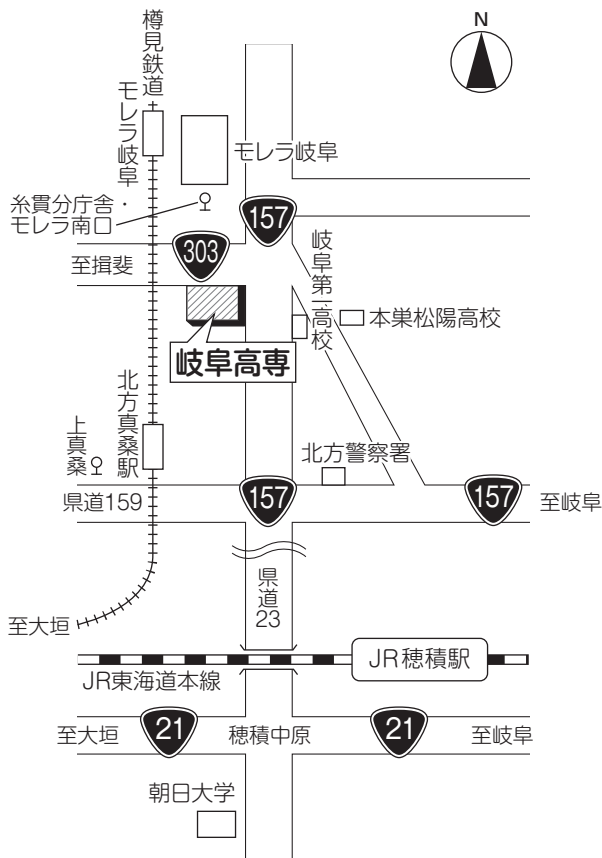
## 記入上の注意

- ※印の欄は記入しないこと。その他の欄は志願者が記入してください。
- ペン書き（黒または青）で正確かつ明瞭に記入してください。
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を ― で抹消し、押印のうえ、正しい事項を記入してください。

## 検査場 (略図)



## 検査場 (詳細図)



### (交通アクセス)

- 1) JR 大垣駅から、樽見鉄道で「北方真桑」駅下車、北に約 1.2 km。
- 2) JR 岐阜・名鉄岐阜駅から、岐阜バス(岐阜高専行)で「岐阜高専(終点)」下車。
- 3) JR 岐阜・名鉄岐阜駅から、岐阜バス(モレラ岐阜行)で「モレラ岐阜(終点)」下車、南に約 1.2 km。
- 4) JR 岐阜・名鉄岐阜駅から、岐阜バス(パレットピアおおの行または大野バスセンター行)で「上真桑」下車、北東に約 1.5 km。
- 5) JR 穂積駅から、岐阜バス(大野バスセンター行)で「糸貫分庁舎・モレラ南口」下車、南に約 0.7 km。

問い合わせ先  
独立行政法人 国立高等専門学校機構  
**岐阜工業高等専門学校 学生課教務係（入試担当）**

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番2  
TEL 058-320-1260（学生課教務係（入試担当）直通）  
（平日 8時30分から17時まで）

ホームページ <http://www.gifu-nct.ac.jp/>  
メールアドレス nyushi@gifu-nct.ac.jp

## 入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することができません。窓口でゆうちょ銀行専用の「振込依頼書（兼振替払出請求書）（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書）（以下参照）」を受領してください。
- 4) 「振込依頼書（兼振替払出請求書）」は「入学検定料「振込受付証明書」提出票」に添付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。

※振込依頼書（サンプル）

※振込依頼書【お客様控】（サンプル）